



# 笑顔あふれる 地域を目指して

一人と人をつなぐ身近な存在、町内会

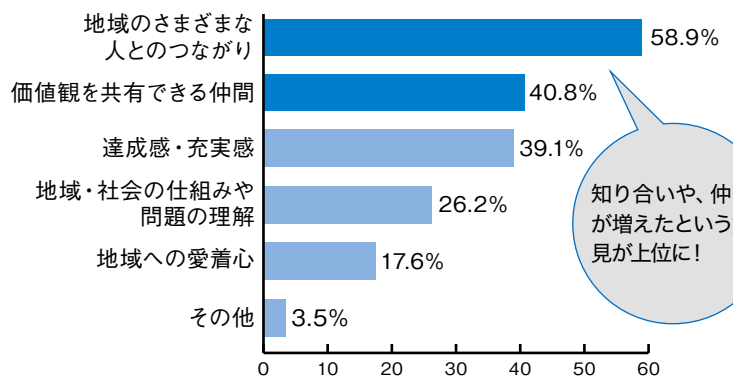
まちの清掃やお祭りの開催など、日々の暮らしを陰ながら支える「町内会」は、私たちにとって身近な存在の一つです。

この特集では、町内会と積極的に関わり、地域に笑顔の輪を広げるために力を尽くす人たちへのインタビューを通して、住民同士のつながりの大切さと交流を深めるための工夫をお伝えします。

この特集に関する問い合わせは、市民自治推進課 ☎211-2253



## ＼地域の活動に参加するとこんな良いことが！／



## 町内会 × 高校生

清田区北野まきば町内会

役員の高齢化が進む町内会で、  
女子高校生が役員となり、イベントの企画や  
町内会報の執筆などに携わっています



身近な人に楽しんでもらう  
喜びを知った—  
きっかけは町内会でした

(飯島)



北野まきば町内会 会長

こんどう ゆういちろう  
近藤 裕一郎さん

町内会役員若返り策として、幼い頃行事に熱心に参加していた飯島さんに、役員就任を依頼した。

北野まきば町内会  
青少年育成副部長

いいじま ゆうか  
飯島 優佳さん

北星学園大学附属高校2年生。昨年4月から町内会の役員となり、主に子ども向け行事の企画・運営を担当。

—なぜ、飯島さんが町内会に関わるようになったのですか？  
飯島 幼い頃、町内会のお祭りが大好きでよく参加していましたが、小学校を卒業してからは町内会との関わりはありませんでした。そんな中、近藤会長から町内会の役員に誘っていただき、「地域のためにできることがあるなら」と考え、引き受けました。—役員になってみて、町内会への印象は変わりましたか。  
飯島 役員を始める前は堅苦しいイメージを持ってましたね(笑)。でも、実際に活動してみると、親しみやすい方ばかりですぐに打ち解けることができました。  
—飯島さんが役員になったことで、周りの方からの反応は？  
近藤 地域の方から「町内会が明るくなった」と喜ばれています。彼女に声を掛けたのは、若い人の発想で町内会をより活発にしたいという思いからでした。役員になってもらって、周りの大人たちも刺激を受けている気がします。「若者に負けていられない！」という意識の改革につながったのではないのでしょうか。  
—昨年開催したカレーパーティーが大盛況だったそうですね。  
飯島 地域の子どもたちがカレーライスを作り、大人に振る

舞うというイベントを初めて企画したところ、200人を超える方が集まってくれました。開催案内のチラシ作りを子どもたちにも手伝ってもらったほか、ゲームの企画では、近所にある介護予防センターの方からアイデアをいただきました。企画をゼロから作り上げるのは大変でしたが、地域の人たちが交流し、絆を深められるイベントになったので、やって良かったと思います。  
近藤 こうした世代を超えた交流が、つながりの輪を育みます。多くの方に町内会のイベントなどに参加していただくことで、今後の新たな活動へと広がってきたいですね。



# 町内会 × 子育て

東区元町4区町内会

この地区の子育てサロンでは、  
利用する親子だけではなく、町内会の人たちと一緒に  
子どもたちを育む活動を行っています



子育てを通じて  
人と人がつながる—  
そんな交流の場に  
していきたいですね



元町4区町内会女性部副部長  
岩田 容子さん

町内会女性部での活動の傍ら、子育てサロン「チェリーランド」を主宰。訪れる母親たちから厚い信頼を集める。

—どのような経緯で子育てサロンを始めたのですか？

10年ほど前、町内会館で事務の仕事をしていたときに、訪れるお母さんたちから「ここに子育てサロンがあればいいのに」というお話を何度も聞きました。

そこで、町内会に相談をして、費用の助成を受けながら、会館の一室を使ったサロンを始めたんです。

—週3回のサロンでは、どのような活動をしているのですか？

折り紙や絵本の読み聞かせなどです。また、七夕やクリスマスなど、毎月、季節にちなんだイベントも開催。こうした活動では、町内会などに声を掛けて、手伝ってもらっています。近くの中学校や高校の生徒さんたちが参加してくれることもあるんですよ。

—いろいろな催しがあって楽しそうですね。

サロンに来る親子だけでなく、地域の皆さんも楽しみにしてくれています。先日行った餅つき大会も、餅米の準備や会場の設営など、多くの皆さんに協力してもらい、和気あいあいとした楽しい会になりました。

—子育てから地域のつながりが育まれているのですか？

そうですね。子育て中のお母さん同士だけではなく、このサロンを手伝ってくれる地域の方々とも顔なじみになります。これからも、気軽に声を掛け合ったり、子育ての悩みを相談できたりする関係をもっとつくっていきけるといいですね。

## 地域の活動に参加したいときは「まちづくりセンター」へ

市内に87カ所あるセンターでは、歩道の花壇づくりや防災訓練の実施など、地域で行われているさまざまな活動のお手伝いをしています。

### こんなときはまちづくりセンターにご相談を！

- ・地域でどんな活動をしているか知りたい
- ・町内会に加入したい など

お住まいの地域のまちづくりセンターや町内会は、ホームページで確認できます。



札幌市 町内会

検索

# 町内会 × 環境活動

西区西野連合町内会

連合町内会やPTAなどが連携して、地域の川にヤマメの稚魚を放流するという幅広い世代が気軽に参加できる環境活動を行っています



楽しみながら  
身近な自然に親しむ—  
それが地域への愛着を  
深めると思うんです



西野連合町内会 会長  
佐藤 功悦さん

長年、西野地区の町内会活動に携わるとともに、ヤマメの稚魚放流事業実行委員会の委員長も務めている。

—ヤマメの放流はどのような活動ですか？

自然のヤマメが数多く生息していたかつての琴似発寒川の姿を取り戻そうと、毎年春に約3万匹の稚魚を放流しています。一つの町内会の発案で始まったこの取り組みは、今では11の連

合町内会が共同で行う事業となりました。昨年24回目を迎え、幅広い世代が交流できる地域の一大イベントになっています。

—昨年は2千人近い参加者でにぎわったそうですね。

そうですね。身近にある自然を守っていききたいという思いが少しずつ広まってきた気がしますね。特に子どもたちは、稚魚を見て目を輝かせて喜んでくれますよ。命の尊さや環境の大切さを学ぶ貴重な機会になっていると思います。

—こうした行事には、たくさんの方の協力が必要ですね。

事前の打ち合わせや当日の会場設営などでは、町内会だけではなくPTAの方なども協力しながら行っています。また、当日は、町内会や児童会館の皆さんが、環境の大切さをテーマに紙芝居を披露する催しも行っています。

—ほかに、地域ぐるみで環境活動に取り組んでいるのですか。

ヤマメの放流時期に合わせて、河畔を一齐に清掃する活動も行っています。こうした取り組みを通じて、自分たちの手で身近な自然を守ろうという連帯感が生まれ、地域への愛着が深まっていくのだと思います。

## 町内会から広がる地域の輪

町内会は、そこに住む人たちが知り合える場をつくり、安心して暮らしていけるようにつながりをつくる活動をしています。皆さんも、身近な存在である町内会の活動に気軽に参加し、ご近所との交流の輪を広げてみませんか。

## 町内会の活動についてもっと知りたい！

### パンフレットを配布中

町内会など、地域で行われている活動の事例などを紹介した冊子「まちナビ」を配布しています。

配布場所 市役所13階市民自治推進課、区役所など



### チ・カ・ホで パネル展を開催

町内会活動を紹介するパネル展や映像の放映などを行います。

日時 3/4(火)、5(水) 11時～18時

会場 駅前通地下歩行空間北3条付近



市は、町内会活動の魅力、このロゴとともに発信する取り組みを行っています